



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

「花笠誕生」を通したふるさと愛の醸成～自作視聴覚コンクール「特選」～

ふるさと愛の醸成について、前号の常盤小学校6年生に引き続き、宮沢小学校4年生による「花笠誕生と五流派の関わり」について紹介します。総合的な学習の時間で児童が取り組んだもので、北村山自作視聴覚教材コンクールで特選に選ばれた内容となります。

「これまで運動会やお祭りで当たり前踊ってきた花笠踊りがどのように誕生したのか」について知らなかったことに、子供たちが気づいたことがきっかけでこの取組が始まったそうです。

保護者や地域の方々からのききとりや副読本「わたしたちの尾花沢市」、ふるさと偉人マンガ「未来からミライへ 高宮常太郎 徳良湖築堤ものがたり」の活用を通して、次のようなことが分かってきました。
※子供たちが制作したパワーポイント資料から引用しました。



9月中旬に覚えたよ！



表彰式の様子

■「花笠音頭」「花笠踊り」が誕生した理由

- 徳良湖築堤の際に行われた土つきの単調さ解消と事故防止のために歌われた。
- 暑い季節に、笠で互いに風を送っていた動作が笠回しへの発展していった。

■集落ごとの特徴

安久戸	・踊りが落ち着いている ・宮沢小で最も踊られている
原田	・土を掘る動作がある ・小さく流れるような笠回しがある ・女性的なしなやかさがある
名木沢	・笠回しの動作がやわらかい ・大工さんの仕事の様子が感じられる
上町	・笠の持ち方が力強い ・動作にキレがある ・男性的な踊りである
寺内	・笠がくるくる回る ・スピード感がある ・華麗さがある

■まとめ

- ・大正時代から踊り続けられた花笠は、尾花沢の歴史と深く関わっている
- ・踊りには当時の人々の思いが込められ、各地域の人々が誇りをもって踊り続けている

○五流派を覚えたり、パワーポイントにまとめたりするのに何度も意見がぶつかり、まとまらないときがありましたが、4年生全員で協力して取り組みました。(本間一煌さん)

○最初は上町流と安久戸流しか踊れませんでした。菅野先生や高宮先生に教えてもらったり、動画を見たりして覚えることができました。(押切怜生さん)

なお、本作品は、県の視聴覚自作教材コンクールに出品することが決まりました。



みんなで議論中



原田流を教わりました！

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330